

取付・取扱説明書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

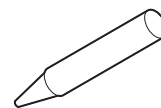
施工上の注意事項

アルミ製品は施工時の取扱いによっては異常腐食を起こし、思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

1. 標準桁タイプは1階設置用です。2階、3階に設置する場合は、バルコニータイプを使用してください。
2. 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
3. 製品の埋め込み深さは、寸法図に表示していますが、軟弱な地盤には、基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。また、寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には凍上線の下まで基礎を設けてください。
4. 柱の水抜きができるように柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。
5. モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれており、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
6. モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、けい酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
7. モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
8. 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。
9. 柱の水抜きができるように、柱の埋設後、水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し柱が破損する恐れがあります。
10. 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合には、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
11. 水漏れの原因となりますので、指定箇所には必ずシーリングを行ってください。
12. シーリング材は右記2種類のシーリング材を使い分けてください。
ポリカーボネート板にシーリングを行う場合、ひび割れなどが考えられますのでシリコン系 脱アルコール形シーリング材(同梱)を使用してください。
13. 躯体にシーリングを行う際は、事前にプライマー処理を行ってください。
14. みだりに改造、変更は避けてください。
15. 施工完了後に取付作業をしたネジ類の締め具合をもう一度お確かめください。



シリコン系
脱アルコール形
シーリング材
(同梱)



変性シリコン系
シーリング材
(現場手配)

目次


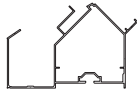

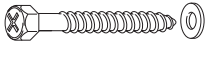
- ・ 梱包別部品一覧表……………2
- ・ 寸法図(寸法表、据付図、断面図)……………7
- ・ 施工の流れ……………9
- ・ 施工の手順
 - 1 設置場所の決定……………10
 - 2 垂木掛けの取り付け……………10
 - 3 前枠の取り付け……………11
 - 4 垂木・側枠の取り付け……………12
 - 5 母屋の取り付け(4尺以上の場合)……………12
 - 6 屋根材の取り付け・
屋根材補強材の取り付け(4尺以上の場合)……………13
 - 7 後付ビードの取り付け……………15
 - 8 キャップの取り付け……………16
 - 9 縦樋の取り付け……………17
 - 10 支柱の埋設……………18

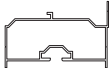

□連棟ユニットの施工


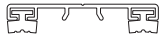

- 1 連結部の加工……………19
- 2 垂木掛けの連結……………19
- 3 前枠の連結……………20
- ・ お客様へ……………22


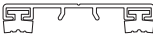

梱包別部品一覧表


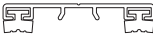

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)			
		IST-K1	IST-K2	IST-K3	IST-K4
		IST A支柱 2本 標準	IST A支柱 1本 標準	IST 延高A支柱 2本 標準	IST 延高A支柱 1本 標準
数量					
支 柱		2	1	—	—
延 高 支 柱		—	—	2	1
柱 ブ ラ ケ ッ ト		2	1	2	1
柱ブラケット裏板		2	1	2	1
丸 樋	 (φ42 2400 ^L)	1	1	—	—
丸 樋	 (φ42 3100 ^L)	—	—	1	1
丸 樋	 (φ42 1000 ^L)	1	1	1	1
アンカーシャフト	 (φ8 200 ^L)	2	1	2	1
六角ボルト M8×16 ^L	 (平・バネ座金付)	4	2	4	2
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	8	4	8	4



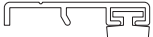



部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		IST-K101	IST-K102	IST-K103	IST-K104	IST-K105	IST-K106	IST-K151	—
		IST R前枠・垂木掛A (20)標準	IST R前枠・垂木掛A (30)標準	IST R前枠・垂木掛A (40)標準	IST R前枠・垂木掛B (20)	IST R前枠・垂木掛B (30)	IST R前枠・垂木掛B (40)	IST R前枠・垂木掛A (50)標準	—
		型式コード・梱包名称(関東間)							
		IST-K131	IST-K132	IST-K133	IST-K134	IST-K135	IST-K136	IST-K160	IST-K161
		IST R前枠・垂木掛A (18)	IST R前枠・垂木掛A (27)	IST R前枠・垂木掛A (36)	IST R前枠・垂木掛B (18)	IST R前枠・垂木掛B (27)	IST R前枠・垂木掛B (36)	IST R前枠・垂木掛A (45)	IST R前枠・垂木掛A (54)
		数量							
垂木掛け		1	1	1	1	1	1	1	1
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1
後付ビード		4	6	8	8	12	16	10	12
コーチスクリュー φ6×70 ^L	 (平座金付)	3	4	5	5	7	9	6	7





部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)				
		IST-K116	IST-K117	IST-K118	IST-K154	—
		IST 補強桁(20)	IST 補強桁(30)	IST 補強桁(40)	IST 補強桁(50)	—
		型式コード・梱包名称(関東間)				
		IST-K146	IST-K147	IST-K148	IST-K166	IST-K167
		IST 補強桁(18)	IST 補強桁(27)	IST 補強桁(36)	IST 補強桁(45)	IST 補強桁(54)
		数量				
補強桁		1	1	1	1	1
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	6	8	10	12	14


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-K201	IST-K202	IST-K203	IST-K204	IST-K205	IST-K206	IST-K207	IST-K208
		IST R上止め垂木 (09)1本	IST R上止め垂木 (12)1本 1.5×4	IST R上止め垂木 (15)1本 1.5×5	IST R上止め垂木 (18)1本 1.5×6	IST R上止め垂木 (21)1本	IST R上止め垂木 (24)1本	IST R上止め垂木 (27)1本	IST R上止め垂木 (30)1本
		数量							
上止垂木		1	1	1	1	1	1	1	1
屋根押え		1	1	1	1	1	1	1	1
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	12	12	15	15	18	18	21	21


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-K209	IST-K210	IST-K211	IST-K212	IST-K213	IST-K214	IST-K215	IST-K216
		IST R上止め垂木 (09)2本	IST 上止め垂木 (12)2本 2.0×4	IST 上止め垂木 (15)2本 2.0×5	IST 上止め垂木 (18)2本 2.0×6	IST R上止め垂木 (21)2本	IST R上止め垂木 (24)2本	IST R上止め垂木 (27)2本	IST R上止め垂木 (30)2本
数量									
上 止 垂 木		2	2	2	2	2	2	2	2
屋 根 押 え		2	2	2	2	2	2	2	2
トラスタッピングネジ φ5×12 ^L	 (3種)	21	24	26	30	33	36	39	42


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-K217	IST-K218	IST-K219	IST-K220	IST-K221	IST-K222	IST-K223	IST-K224
		IST R上止め垂木 (09)3本	IST 上止め垂木 (12)3本 1.5×4 連用	IST 上止め垂木 (15)3本 1.5×5 連用	IST 上止め垂木 (15)3本 1.5×6 連用	IST R上止め垂木 (21)3本	IST R上止め垂木 (24)3本	IST R上止め垂木 (27)3本	IST R上止め垂木 (30)3本
数量									
上 止 垂 木		3	3	3	3	3	3	3	3
屋 根 押 え		3	3	3	3	3	3	3	3
トラスタッピングネジ φ5×12 ^L	 (3種)	32	33	40	44	50	54	60	63


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-K301	IST-K302	IST-K303	IST-K304	IST-K305	IST-K306	IST-K307	IST-K308
		IST R上止め側枠 (09)	IST 上止め側枠 (12)1F用	IST 上止め側枠 (15)1F用	IST 上止め側枠 (18)1F用	IST R上止め側枠 (21)	IST R上止め側枠 (24)	IST R上止め側枠 (27)	IST R上止め側枠 (30)
数量									
上 止 側 枠 R		1	1	1	1	1	1	1	1
上 止 側 枠 L		1	1	1	1	1	1	1	1
端 部 屋 根 押 え		R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1
上 止 垂 木		1	1	1	1	1	1	1	1
屋 根 押 え		1	1	1	1	1	1	1	1
トラスタッピングネジ φ5×12 ^L	 (3種)	36	39	44	48	52	54	63	65

























部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)								
		IST-K401	IST-K402	IST-K403	IST-K404	IST-K405	IST-K406	IST-K407	IST-K408	IST-K409
		IST母屋(10)2本 1.0	IST母屋(10)3本 1.5	IST母屋(10)4本 2.0	IST母屋(05)4本	IST母屋(05)6本	IST母屋(05)8本	屋根補強材(20)	IST屋根補強材(20)1.0	IST屋根補強材(40)2.0
		型式コード・梱包名称(関東間)								
		IST-K431	IST-K432	IST-K433	IST-K433	IST-K435	IST-K436	IST-K437	IST-K438	IST-K439
		IST母屋(09)2本	IST母屋(09)3本	IST母屋(09)4本	IST母屋(045)4本	IST母屋(045)6本	IST母屋(045)8本	IST屋根補強材(18)	IST屋根補強材(27)	IST屋根補強材(36)
		数量								
母屋		2	3	4	4	6	8	—	—	—
屋根補強材		—	—	—	—	—	—	2	3	4
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	4	6	8	8	12	16	—	—	—
トラスタッピンネジ φ5×14 ^L	 (ゴム付2種)	—	—	—	—	—	—	8	12	16

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		VE-K501	VE-K502	VE-K503	VE-K504	VE-K505	VE-K506	VE-K507	VE-K508
		R屋根材M(09)2枚 ポリカ板 982×986	R屋根材M(12)2枚 ポリカ板 1284×986	R屋根材M(15)2枚 ポリカ板 1586×986	R屋根材M(18)2枚 ポリカ板 1889×986	R屋根材M(21)2枚 ポリカ板 2191×986	R屋根材M(24)4枚 ポリカ板 2493×486	R屋根材M(27)4枚 ポリカ板 2795×486	R屋根材M(30)4枚 ポリカ板 3098×486
		数量							
屋根材 (メーターモジュール)		2	2	2	2	2	4	4	4

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(関東間)							
		VE-K531	VE-K532	VE-K533	VE-K534	VE-K535	VE-K536	VE-K537	VE-K538
		R屋根材E(09)2枚 ポリカ板 982×896	R屋根材E(12)2枚 ポリカ板 1284×896	R屋根材E(15)2枚 ポリカ板 1586×896	R屋根材E(18)2枚 ポリカ板 1889×896	R屋根材E(21)2枚 ポリカ板 2191×896	R屋根材E(24)4枚 ポリカ板 2493×441	R屋根材E(27)4枚 ポリカ板 2795×441	R屋根材E(30)4枚 ポリカ板 3098×441
		数量							
屋根材 (関東間)		2	2	2	2	2	4	4	4

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		VE-K509	VE-K510	VE-K511	VE-K512	VE-K513	VE-K514	VE-K515	VE-K516
		R屋根材M(09)3枚 ポリカ板 982×986	R屋根材M(12)3枚 ポリカ板 1284×986	R屋根材M(15)3枚 ポリカ板 1586×986	R屋根材M(18)3枚 ポリカ板 1889×986	R屋根材M(21)3枚 ポリカ板 2191×986	R屋根材M(24)6枚 ポリカ板 2493×486	R屋根材M(27)6枚 ポリカ板 2795×486	R屋根材M(30)6枚 ポリカ板 3098×486
		数量							
屋根材 (メーターモジュール)		3	3	3	3	3	6	6	6

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(関東間)							
		VE-K539	VE-K540	VE-K541	VE-K542	VE-K543	VE-K544	VE-K545	VE-K546
		R屋根材E(09)3枚 ポリカ板 982×896	R屋根材E(12)3枚 ポリカ板 1284×896	R屋根材E(15)3枚 ポリカ板 1586×896	R屋根材E(18)3枚 ポリカ板 1889×896	R屋根材E(21)3枚 ポリカ板 2191×896	R屋根材E(24)6枚 ポリカ板 2493×441	R屋根材E(27)6枚 ポリカ板 2795×441	R屋根材E(30)6枚 ポリカ板 3098×441
		数量							
屋根材 (関東間)		3	3	3	3	3	6	6	6

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)				
		IST-K601	IST-K602	IST-K603	IST-K604	IST-09TOP
		IST 基本セット 部品箱A	IST R基本セット 部品箱B	IST 連棟ユニット 部品箱A	IST R連棟ユニット 部品箱B	IST 樋ジャバラ (オプション)
数量						
垂木掛けキャップR		1	1	—	—	—
垂木掛けキャップL		1	1	—	—	—
前 枠 キャップ R		1	1	—	—	—
前 枠 キャップ L		1	1	—	—	—
補強桁キャップ		—	2	—	—	—
連 結 金 具 A		—	—	1	2	—
連 結 金 具 C		—	—	1	1	—
樋 口		1	1	1	1	—
ドレンエルボ		1	1	1	1	—
樋 エ ル ボ		2	2	2	2	—
樋 サ ド ル		3	3	3	3	—
樋 バ ン ド		3	3	3	3	—
樋 口 パ ッ キ ン		2	2	2	2	1
樋 口 プ レ ー ト		1	1	1	1	—
接 着 剤		1	1	1	1	—
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	4	8	6	14	—
ナベドリルネジ φ4×19 ^L		8	8	8	8	2
シ ー リ ン グ 材		1	1	1	1	—
連棟防水テープ	 (50×250)	—	—	2	2	—
穴隠しシール	 (10個)	—	—	1	1	—
取付・取扱説明書		1	1	1	1	—
お 客 様 へ		1	1	1	1	—
樋 口 B		—	—	—	—	1
樋 ジャ バ ラ	 (φ39.5 532 ^L)	—	—	—	—	1

寸法図

■寸法表

●出幅・高さ

出幅(D)		全出幅(DY)	前枠高さ(H)	全高さ(HW)	屋根高さ(HY)
3尺(09)	875	960		2880	380
4尺(12)	1175	1260		2916	416
5尺(15)	1475	1560		※2953	※453
6尺(18)	1775	1860		※2990	※490
7尺(21)	2075	2160		※3027	※527
8尺(24)	2375	2460		3094	594
9尺(27)	2675	2760		3131	631
10尺(30)	2975	3060		3167	667

●基礎サイズ

出幅	A
3尺(09)	□300
4尺(12)	
5尺(15)	
6尺(18)	
7尺(21)	
8尺(24)	□400
9尺(27)	
10尺(30)	

H・HWは標準高寸法です。延高は+500mmとなります。

※部 基本セットの間口が5000・2.5間・3.0間の場合は+30mmとなります。

●間口(基本セット)

間型	呼称間口	柱芯間隔(L)	全間口(WY)	屋根ピッチ(P)	
				3~7尺	8~10尺
メーターモジュール	2000	1850	2040	1000	500
	3000	2850	3040		
	4000	3850	4040		
	5000	4850	5040		
関東間	1.0間(1820)	1670	1860	910	455
	1.5間(2730)	2580	2770		
	2.0間(3640)	3490	3680		
	2.5間(4550)	4400	4590		
	3.0間(5460)	5310	5500		

●間口(基本セット+連棟ユニット)

間型	呼称間口	柱芯間隔			全間口(WY)	屋根ピッチ(P)	
		(L1)	(L2)	(L3)		3~7尺	8~10尺
メーターモジュール	5000(2000+3000)	1925	2925	—	5040	1000	500
	6000(3000+3000)	2925	2925	—	6040		
	7000(3000+4000)	2925	3925	—	7040		
	8000(4000+4000)	3925	3925	—	8040		
	9000(3000+3000+3000)	2925	3000	2925	9040		
関東間	10000(3000+4000+3000)	2925	4000	2925	10040	910	455
	2.5間(1820+2730)	1745	2655	—	4590		
	3.0間(2730+2730)	2655	2655	—	5500		
	3.5間(2730+3640)	2655	3565	—	6410		
	4.0間(3640+3640)	3565	3565	—	7320		
	4.5間(2730+2730+2730)	2655	2730	2655	8230		
5.0間(2730+3640+2730)	2655	3640	2655	9140			

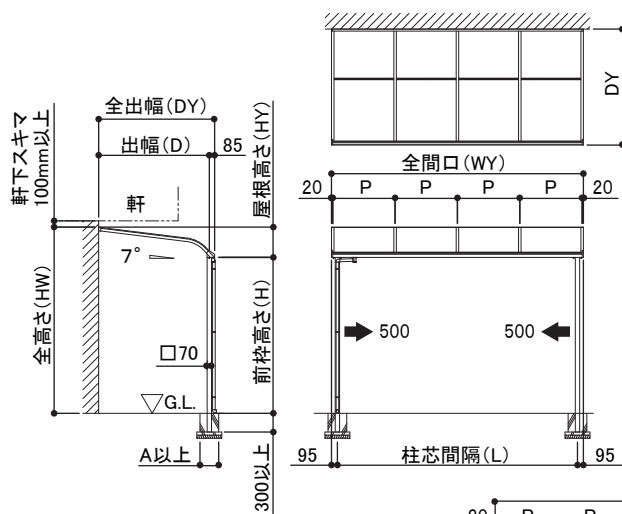
●前枠の仕様

○・・・補強桁なし ◎・・・補強桁あり

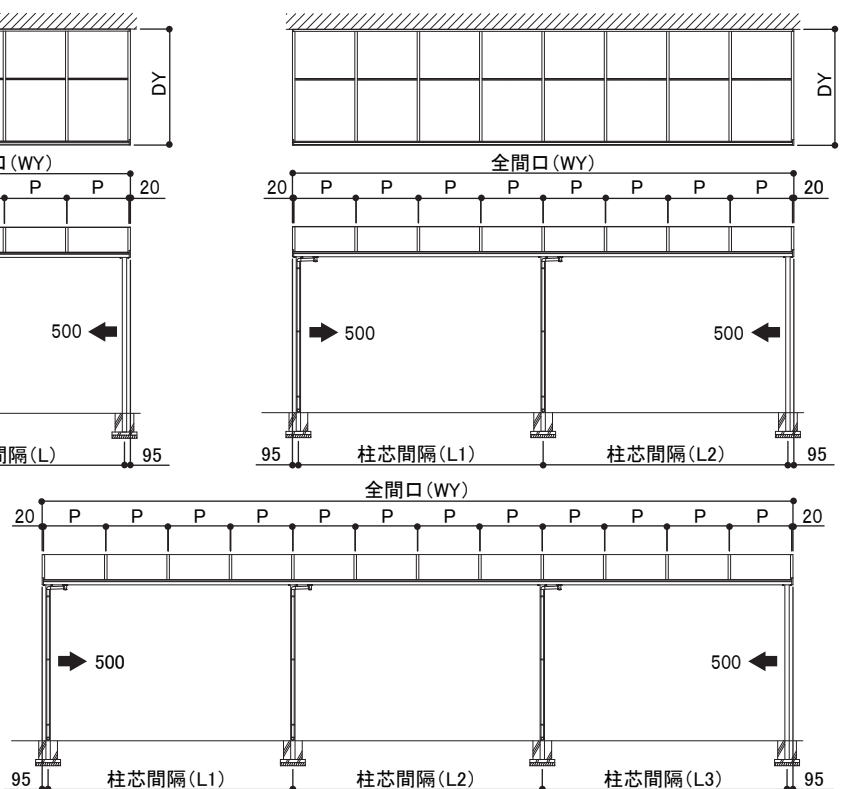
	呼称間口					
	メーターモジュール	2000	3000	4000	5000	—
出幅(D)	関東間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
	3尺	○	○	○	○	○
	4尺	○	○	○	○	○
	5尺	○	○	○	◎	◎
	6尺	○	○	○	◎	◎
	7尺	○	○	○	◎	—
	8尺	◎	◎	◎	—	—
	9尺	◎	◎	◎	—	—
	10尺	◎	◎	◎	—	—

■据付図

●基本セット



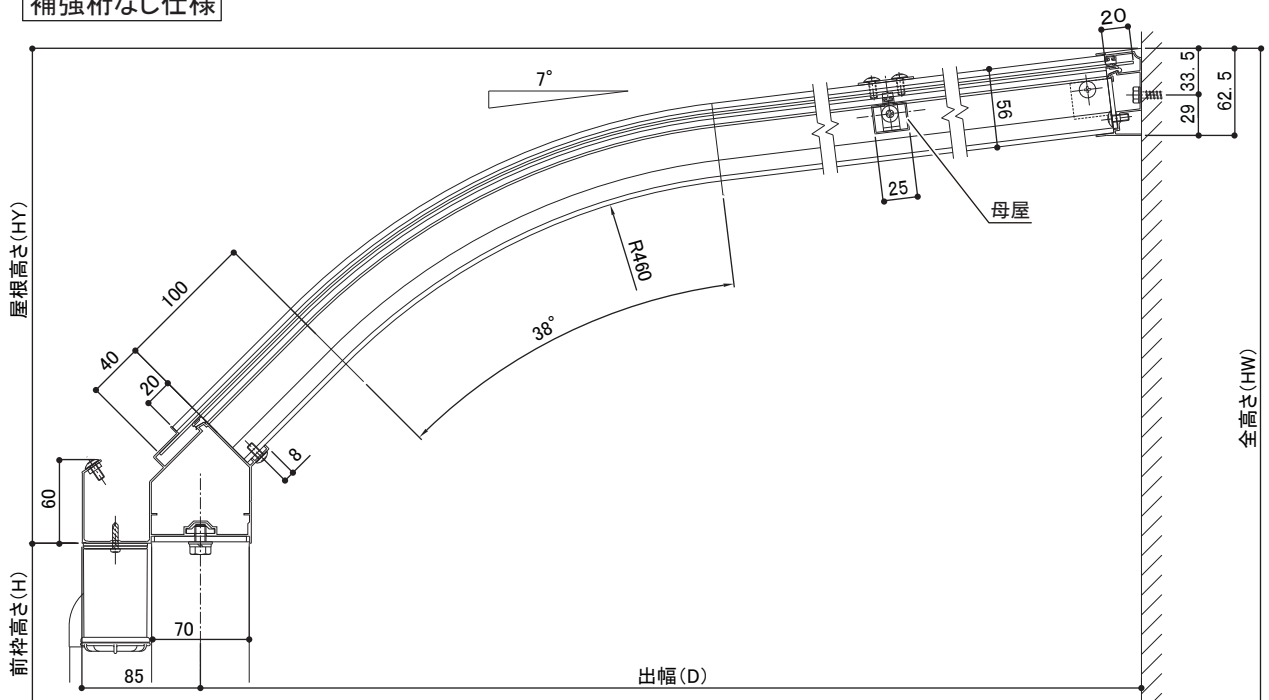
●基本セット+連棟ユニット



■断面図

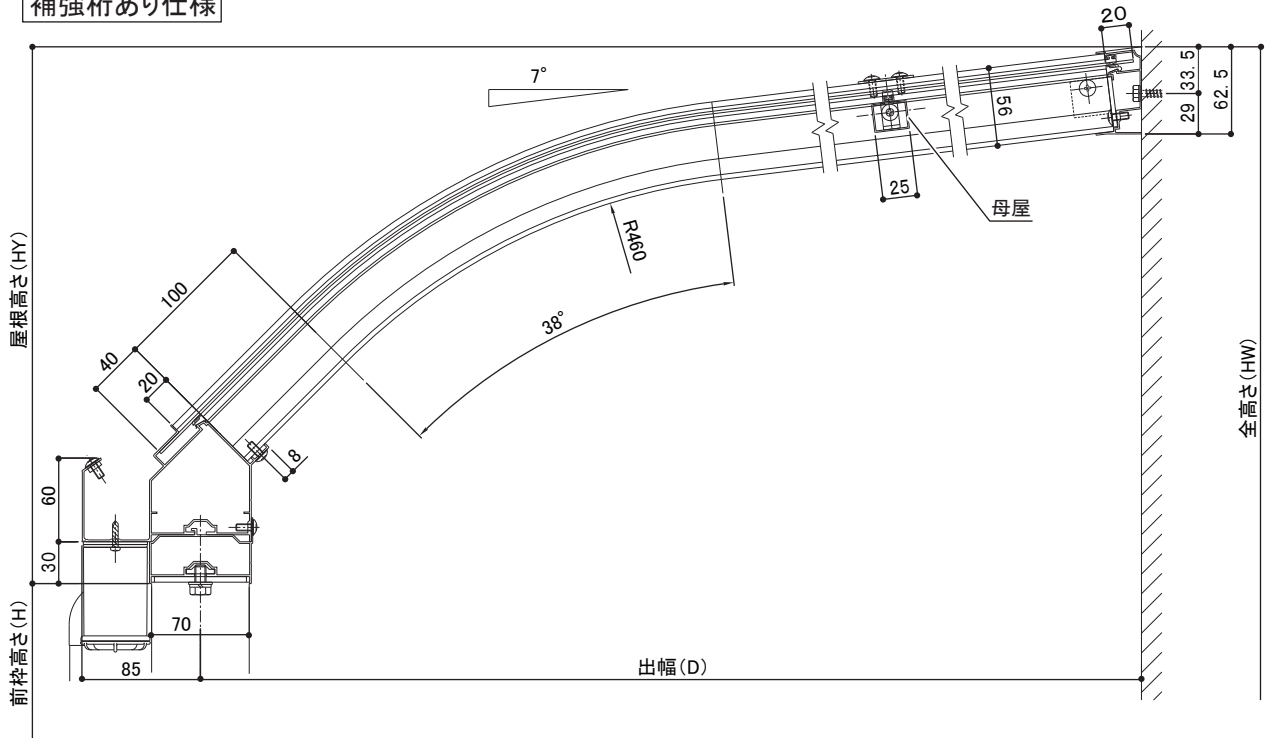
●側面断面図

補強桁なし仕様

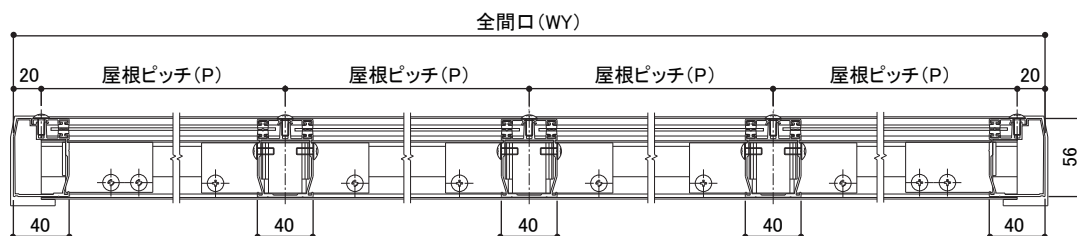


※3尺の場合、母屋はありません。

補強桁あり仕様

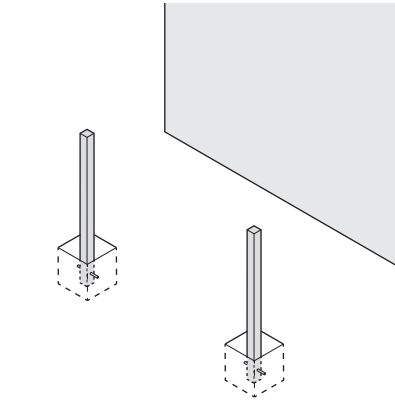


●垂木断面図

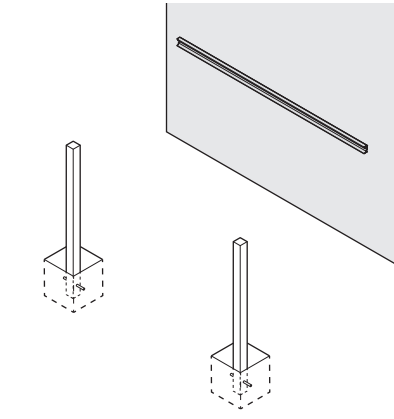


施工の流れ

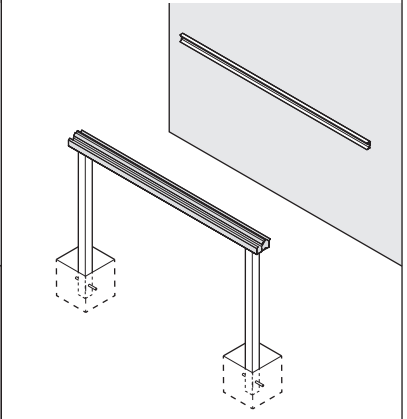
1 設置場所の決定



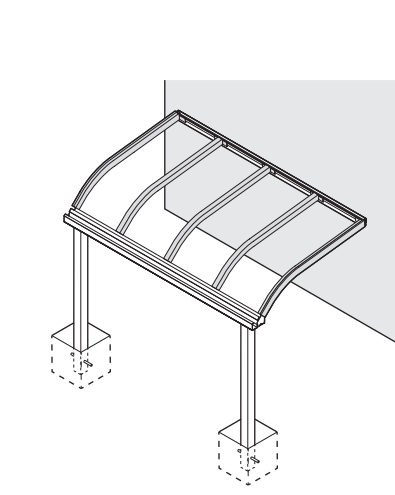
2 垂木掛けの取り付け



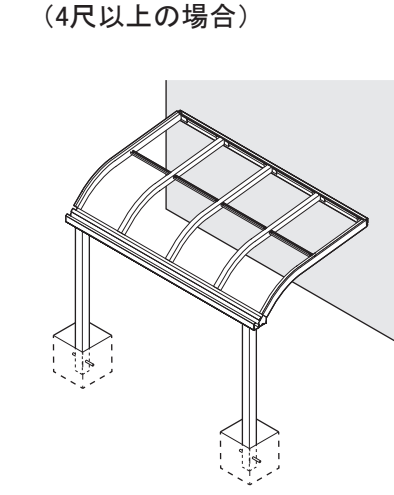
3 前枠の取り付け



4 垂木・側枠の取り付け



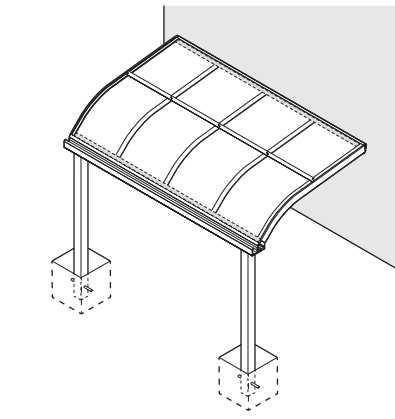
5 母屋の取り付け (4尺以上の場合)



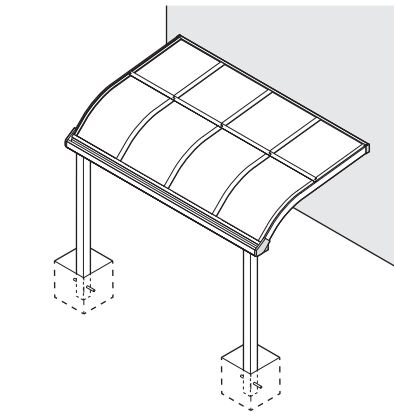
6 屋根材の取り付け・ 屋根補強材の取り付け (4尺以上の場合)



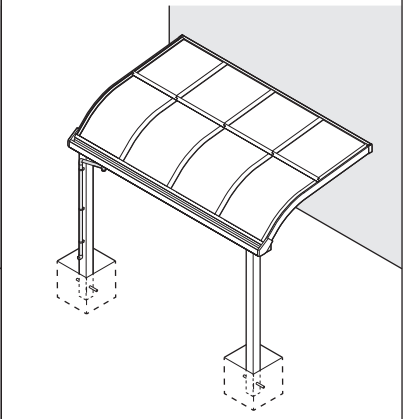
7 後付ビードの取り付け



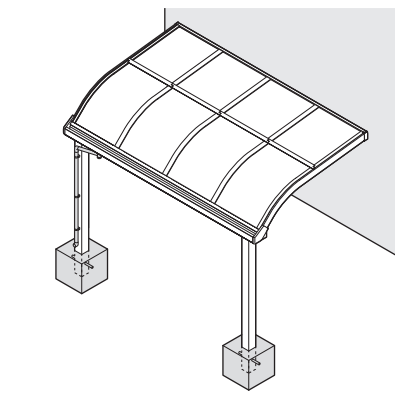
8 キャップの取り付け



9 縦樋の取り付け



10 支柱の埋設



注意

取り付けを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれ、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

守っていただかないと施工できない内容、または製品に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

ポイント

施工をよりスムーズに行うための内容、またはよりきれいに仕上げるための内容を示しています。

施工の手順

■ 基本セットの施工は**1**→**2**…**10**の順に作業してください。

□ 連棟ユニットの施工は**1**→**1**→**2**→**2**→**3**→**3**…**10**の順に作業してください。

1 設置場所の決定

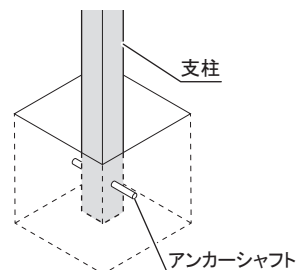
1. 寸法図及び躯体の柱芯を目安に設置場所を決め、寸法表の基礎サイズを参考に基礎穴を掘ってください。
2. 柱にアンカーシャフトを入れ、柱が倒れないように仮固定してください。

注意

軒、バルコニー等の下に取り付けをする場合は軒下とのスキマが100mm以上必要です。

お願い

- ・ 必要に応じて柱の切り詰めを行ってください。
- ・ 前面パネルを取り付ける場合は前面パネルの取付説明書を参照のうえ、柱位置を決めてください。



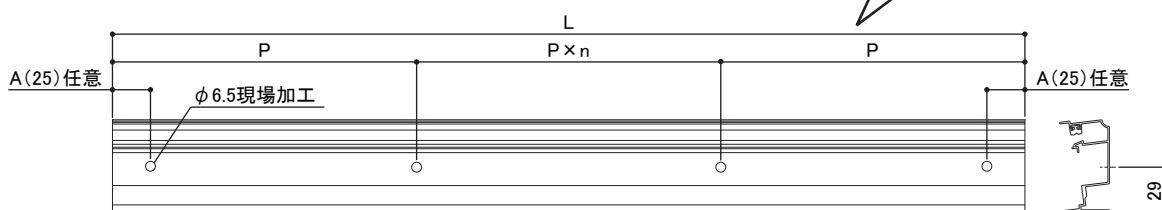
2 垂木掛けの取り付け

1. 垂木掛けに躯体の柱芯に合わせてコーチスクリュー用の穴をあけてください。

間型	呼称間口	L	3~7尺		8~10尺	
			P	n	P	n
メーター モジュール	2000	2000	1000	0	500	2
	3000	3000	1000	1	500	4
	4000	4000	1000	2	500	6
	5000	5000	1000	3	—	—
関東間	1.0間	1820	910	0	455	2
	1.5間	2730	910	1	455	4
	2.0間	3640	910	2	455	6
	2.5間	4550	910	3	—	—
	3.0間	5460	910	4	—	—

お願い

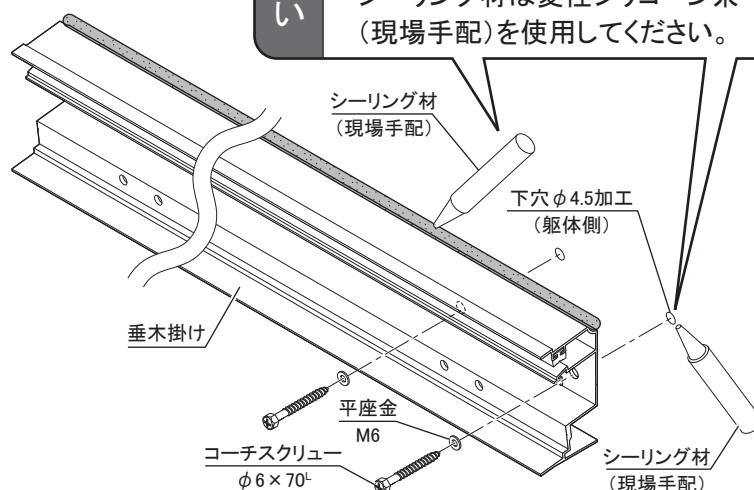
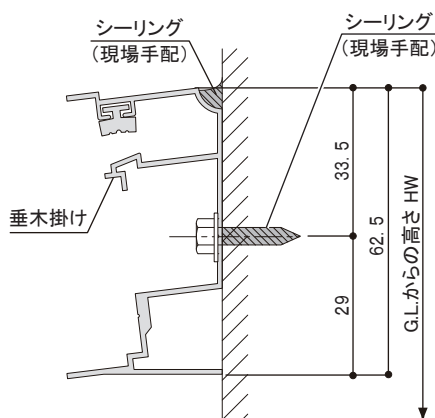
躯体の柱芯に合わせてφ6.5の穴を現場加工してください。



2. 躯体の柱・間柱に下穴を加工し、シーリングを施してからコーチスクリューで垂木掛けを取りつけてください。
3. 垂木掛けの躯体への取り付け部にシーリングを施してください。

お願い

- ・ 躯体にプライマー処理を行った後、シーリングを施してください。
- ・ シーリング材は変性シリコン系（現場手配）を使用してください。



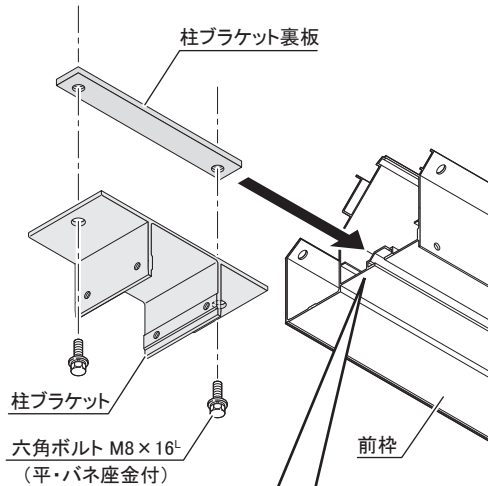
3 前枠の取り付け

1. 前枠に柱ブラケットを取りつけてください。
(寸法表の前枠の仕様を参照し、補強桁の有無を確認してください。)

お願い

前面パネルの補強柱を取りつける場合はあらかじめ、補強柱用の柱ブラケット裏板を前枠または補強桁に差し込んでください。

補強桁なし仕様

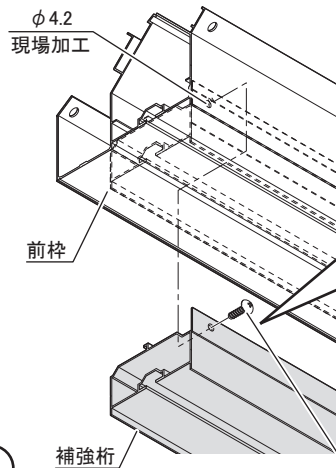


ポイント

前枠端部に柱ブラケット端部を合わせると、柱標準位置になります。

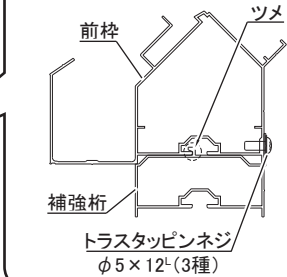
補強桁あり仕様

補強桁と前枠を組み合わせて補強桁の穴部に前枠への下穴を加工してください。

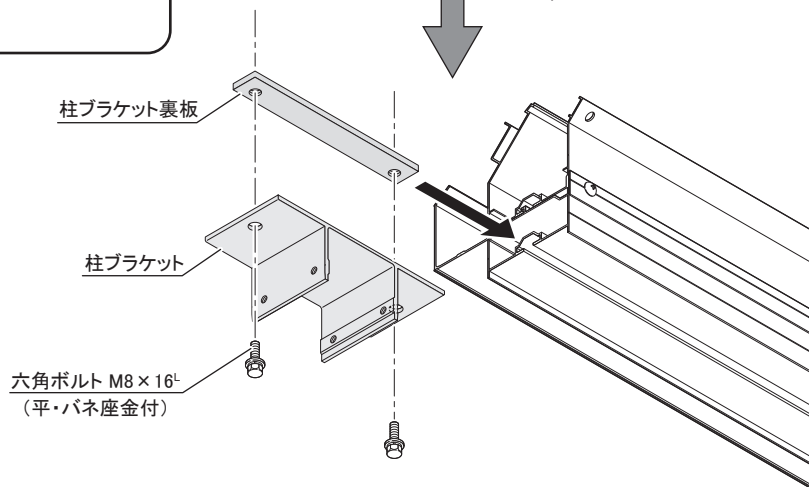


注意

ツメが引っ掛かっていることを確認して取りつけてください。

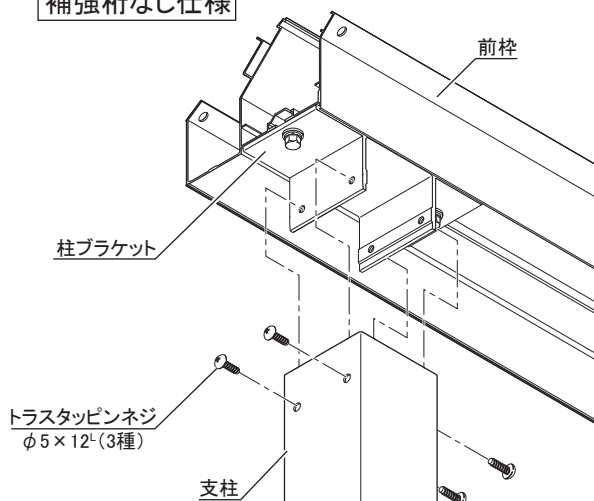


トラスタッピンネジ
φ5 × 12^L(3種)

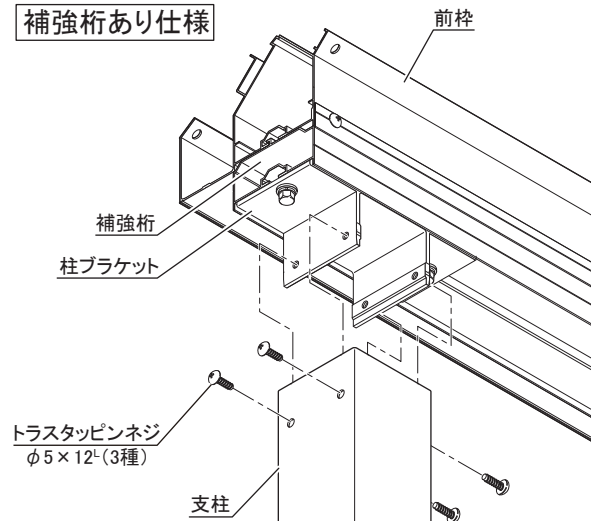


2. 柱ブラケットと柱を取りつけてください。

補強桁なし仕様

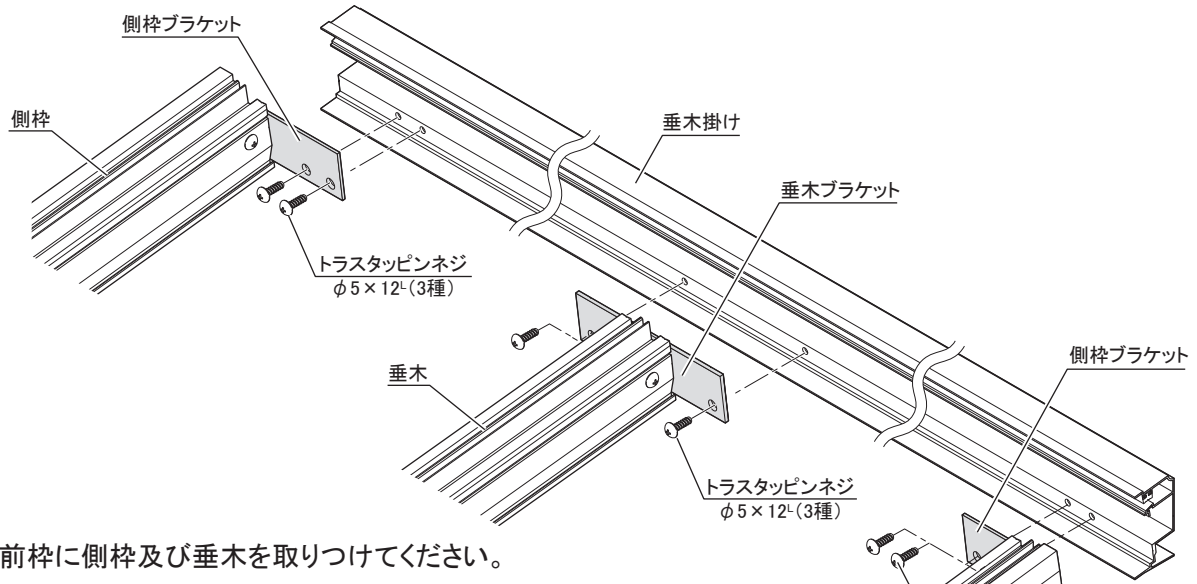


補強桁あり仕様

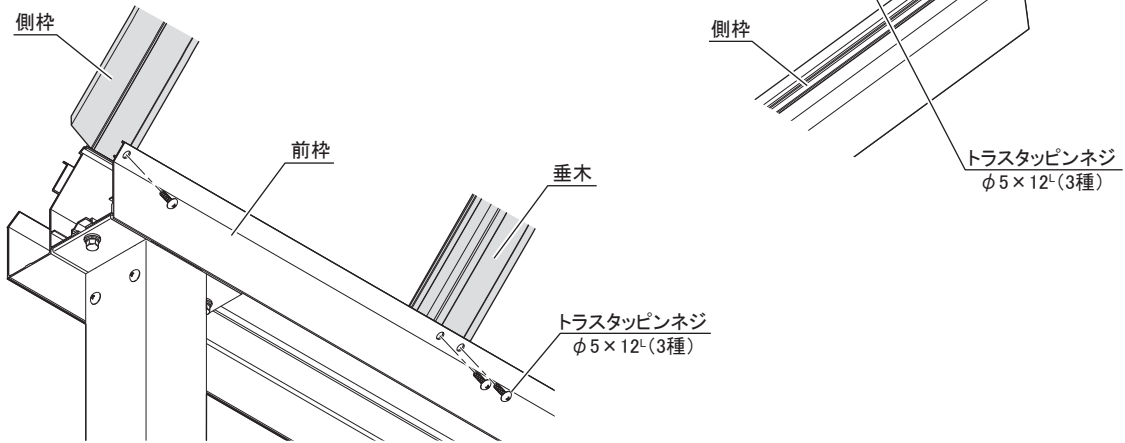


4 垂木・側枠の取り付け

1. 垂木掛けに側枠ブラケット及び垂木ブラケットを取りつけてください。

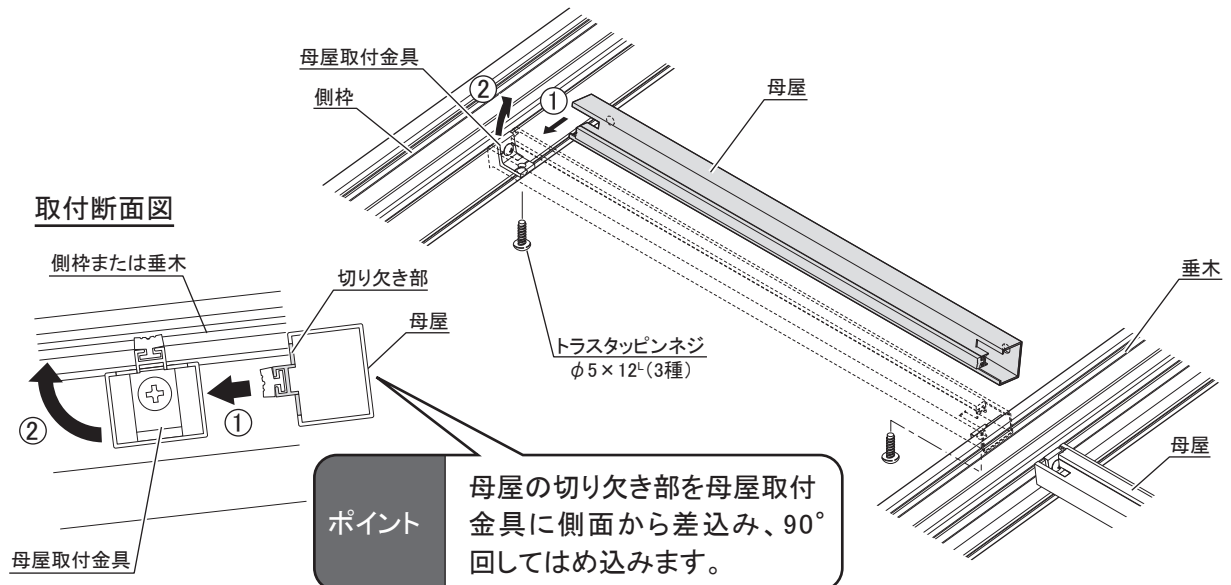


2. 前枠に側枠及び垂木を取りつけてください。



5 母屋の取り付け(4尺以上の場合)

1. 側枠及び垂木に母屋を取りつけてください。



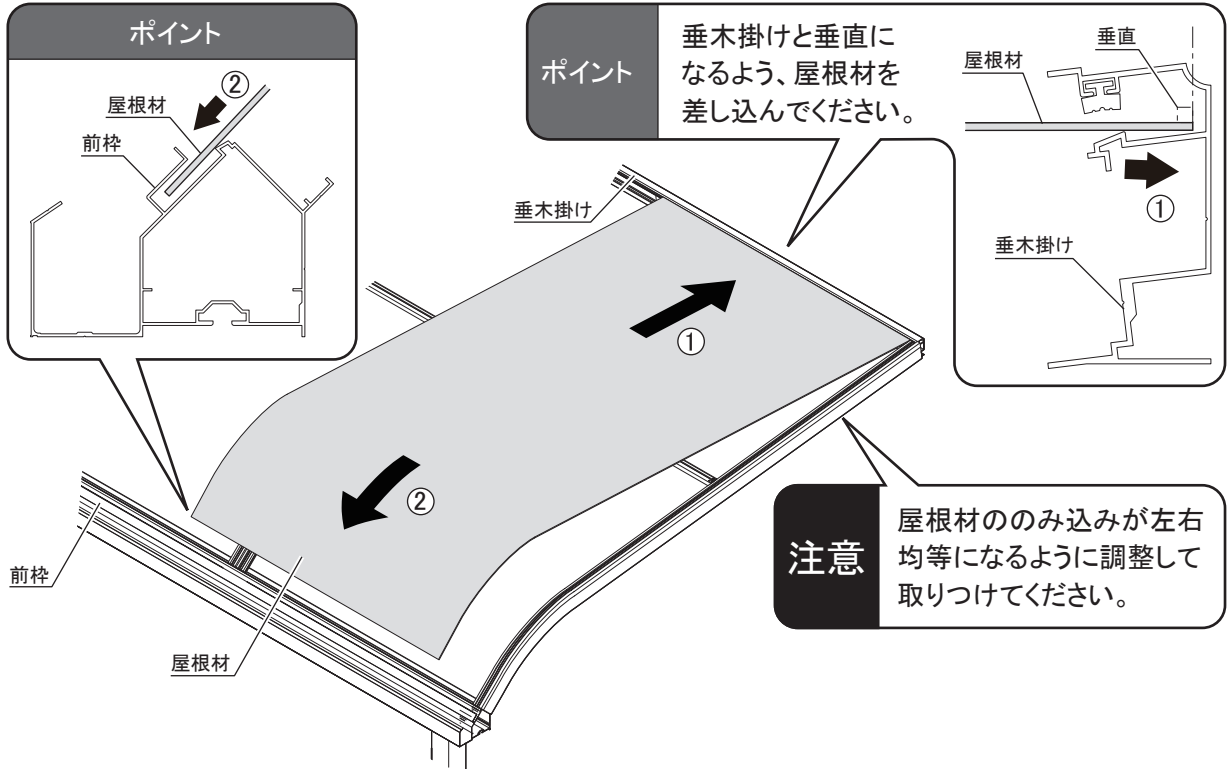
6

屋根材の取り付け・屋根補強材の取り付け(4尺以上の場合)

1. 屋根材の保護シートをはがし、垂木掛けから前枠に屋根材を差し込んでください。

お願い

- ・屋根材には太陽の当たる側(外側)と太陽の当たらない側(内側)の区別がありますので、ご確認のうえ取りつけてください。
- ・片面マット仕様の屋根材は、凹凸面を内側にしてください。



2. 屋根押えを前枠側より取りつけてください。

ポイント

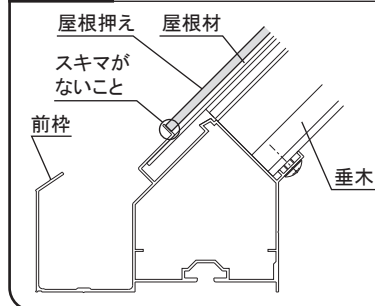
トラスタッピンネジは予備を同梱しております。

お願い

屋根押えは垂木掛け側シールのある方を垂木掛け側にして取りつけてください。

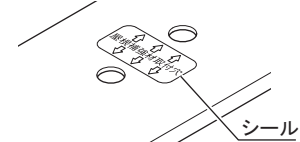
注意

前枠と屋根押えにスキマがないことを確認してください。



ポイント

シールの示している穴は屋根補強材取付穴ですので使用しないでください。

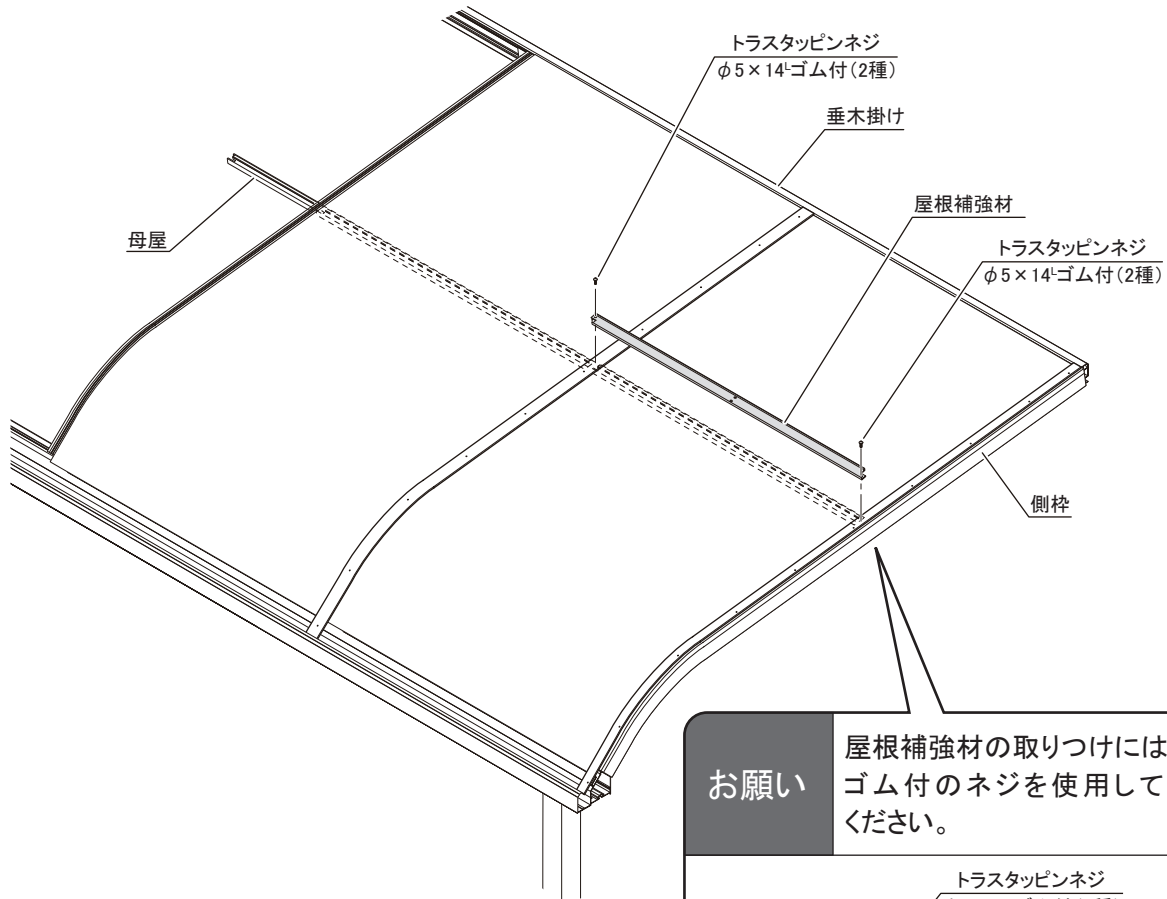


注意

屋根押えは垂木掛けに差し込んでください。

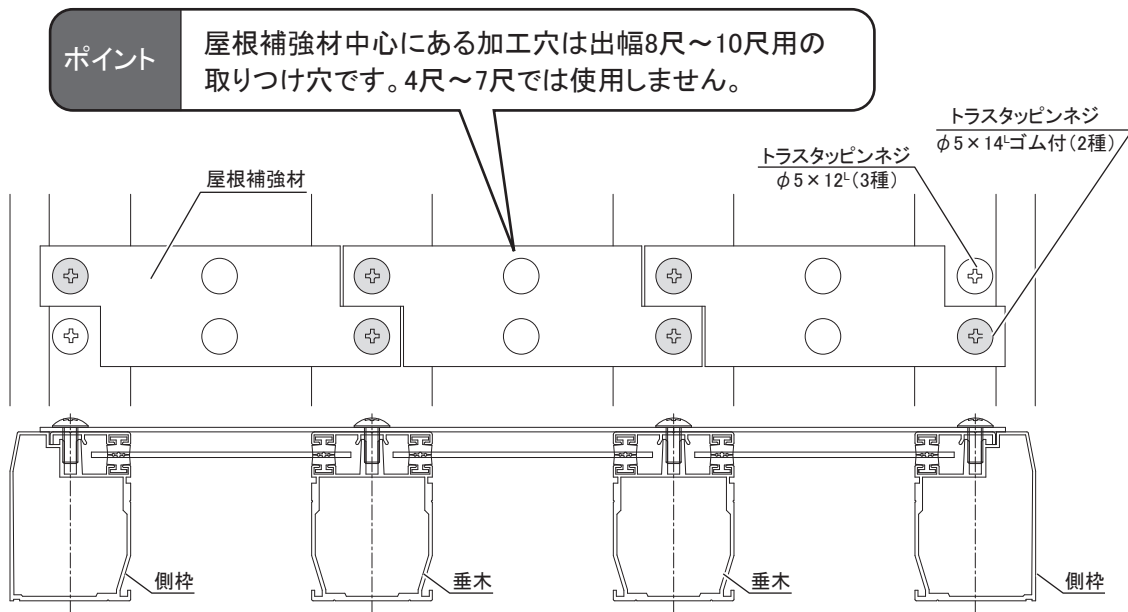


3. 屋根補強材を母屋の位置に合わせ、取りつけてください。(4尺以上の場合)



お願い 屋根補強材の取り付けにはゴム付のネジを使用してください。

屋根補強材 取付詳細図



4. 1.~3.の手順を繰り返してください。

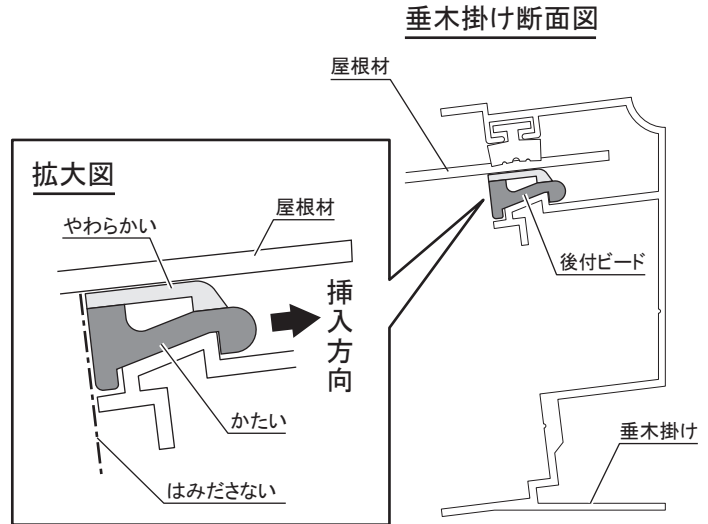
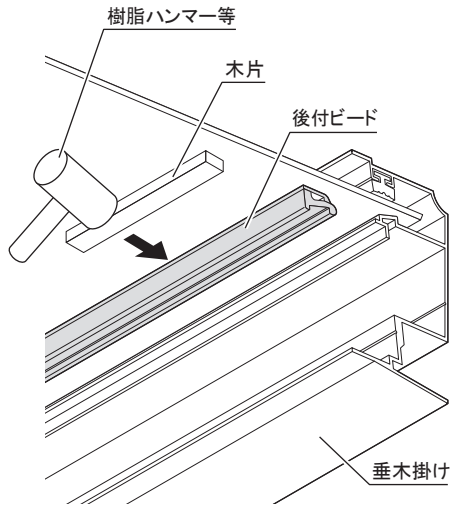
7 後付ビードの取り付け

1. 後付ビードは、木片を利用し、樹脂ハンマー等で軽くたたきいれてください。

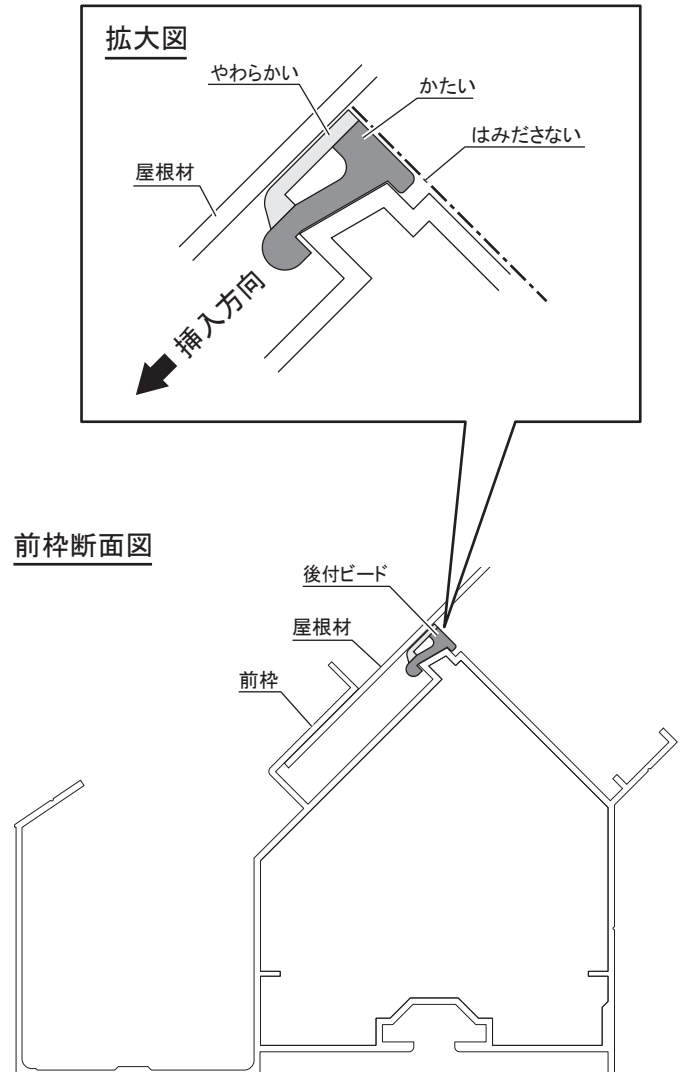
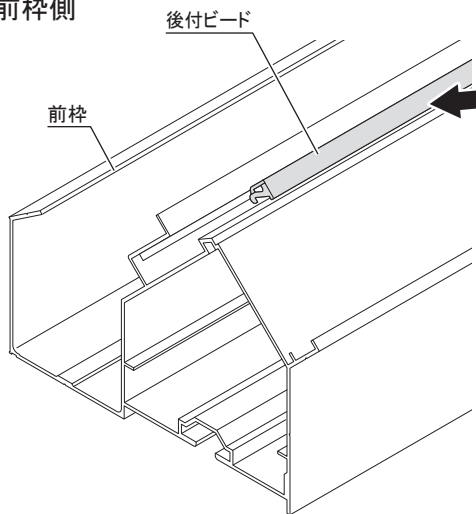
注意

- ・ 後付ビードには向きがあります。やわらかい方が屋根材に触れるよう、挿入してください。
- ・ 後付ビードが形材の端部からはみ出さないようにしてください。

● 垂木掛け側



● 前枠側

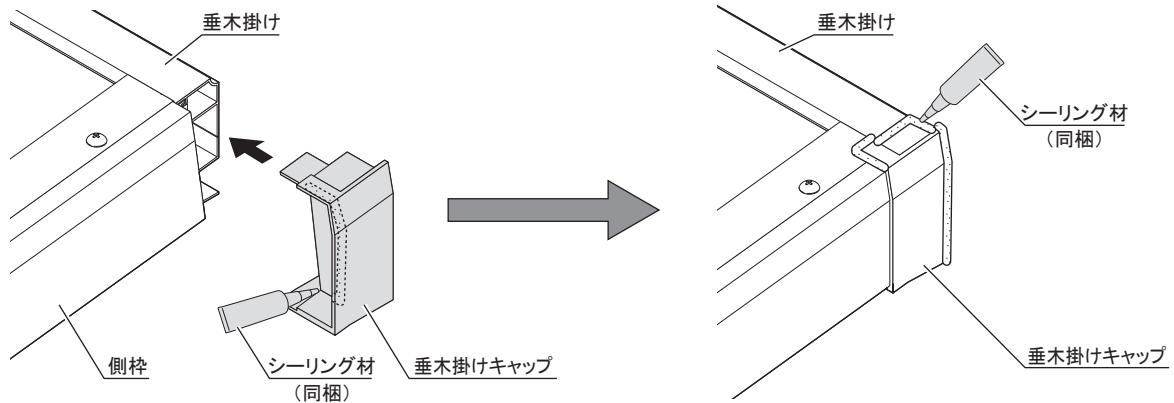


8 キャップの取り付け

1. 垂木掛けキャップ、前枠キャップにシーリングを施してください。
2. 垂木掛け、前枠にキャップを取りつけてください。

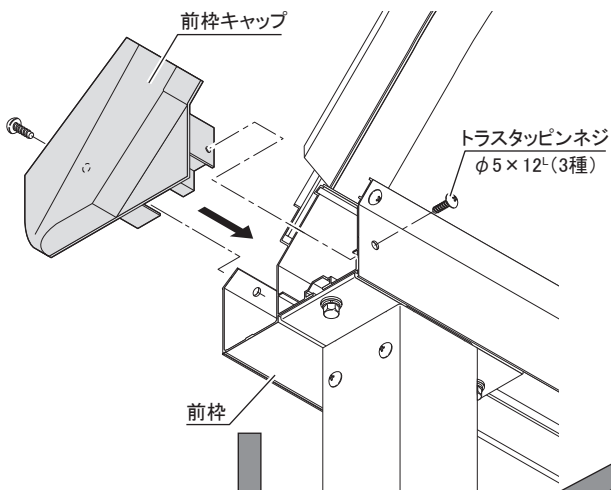
お願い シーリング材はシリコン系 脱アルコール形(同梱)を使用してください。

●垂木掛けキャップ

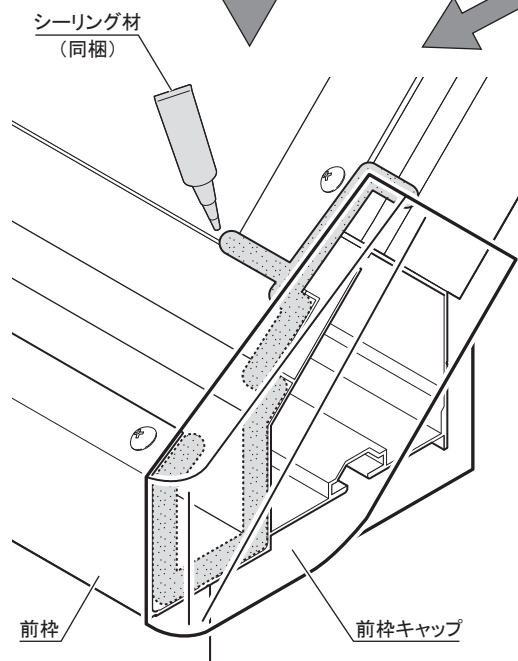
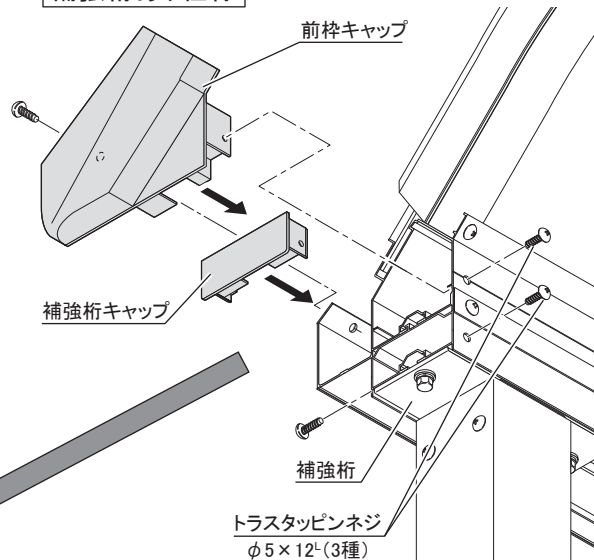


●前枠キャップ

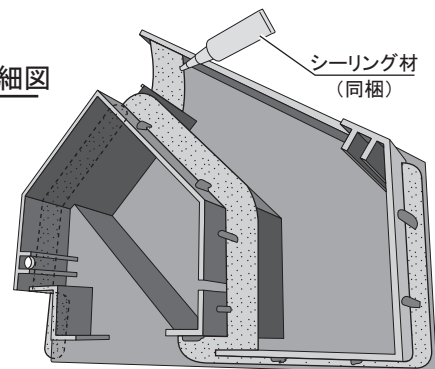
補強桁なし仕様



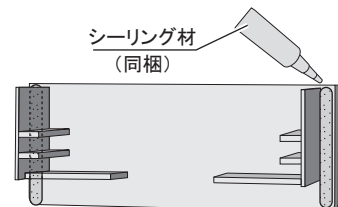
補強桁あり仕様



前枠キャップ
シーリング詳細図



補強桁キャップ
シーリング詳細図
(8~10尺の場合)

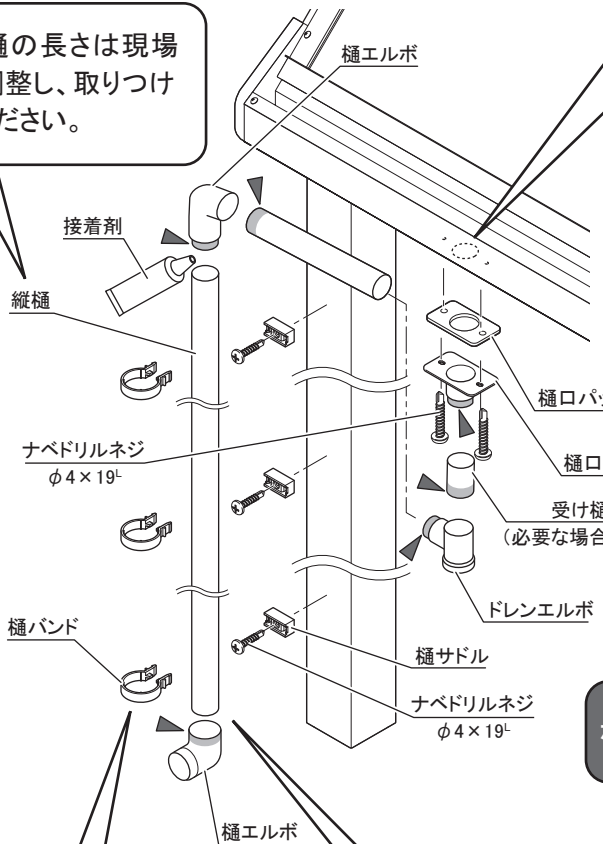


9 縦樋の取り付け

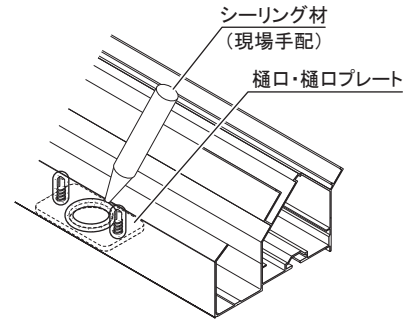
1. 前枠に、樋口パッキンと樋口を取りつけてください。
2. 支柱の3ヶ所に樋サドルを取りつけてください。
3. 縦樋に樋バンドをはさみ、樋サドルに押し込んでください。
4. 樋エルボ、受け樋の接続部(下図の▶ 網掛け部)に接着剤を塗り、接続してください。
5. 縦樋を組みつけなかった前枠の穴に、樋口プレートを取りつけてください。
6. 前枠の樋口および樋口プレートを取りつけたところにシーリングを施してください。

お願い 前面パネルを取りつける場合、縦樋は柱の側面側に取り付けてください。

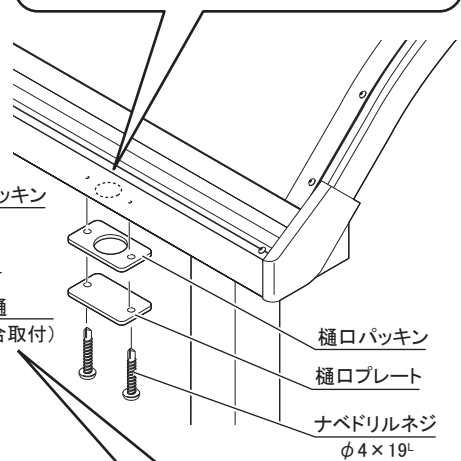
ポイント 縦樋の長さは現場で調整し、取り付けてください。



●前枠のシーリング処理

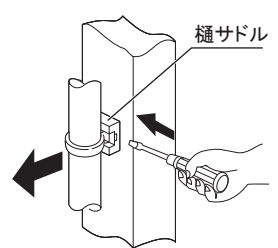


注意 ナベドリルネジで手を切らないようにしてください。

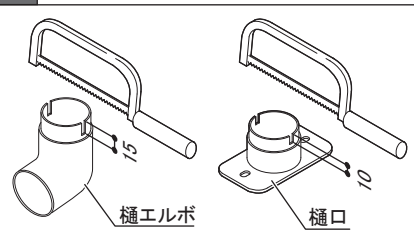


ポイント 受け樋の長さは現場で調整し、取り付けてください。

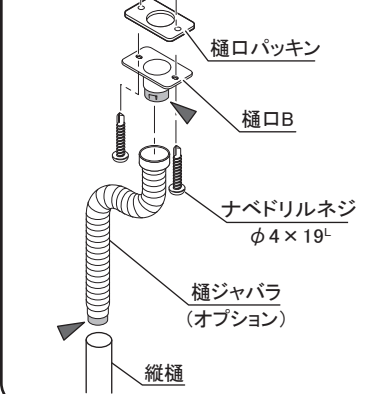
ポイント 樋バンドをはずす際は、樋サドルの横穴にマイナスドライバーを差し込み、樋バンドを外してください。



ポイント 縦樋と樋口もしくは樋エルボを接続する際、嵌合がきつ、入りにくい場合は上図を参考に、樋口及び樋エルボの挿入口に切り込みを入れてから縦樋に挿入してください。

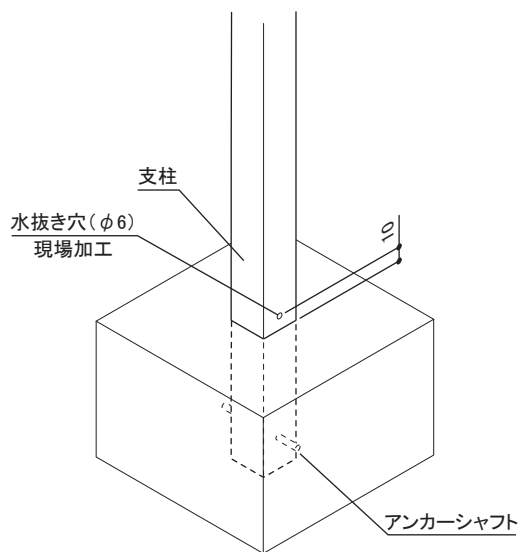


お願い 柱移動によりドレンエルボが使用できない場合は樋ジャバラ(オプション)を使用してください。



10 支柱の埋設

1. 組立終了後、設置位置及び水平・垂直を確認しコンクリートを流し込んでください。
2. 支柱に基礎仕上面から10mm上にφ6の水抜き穴をあけてください。



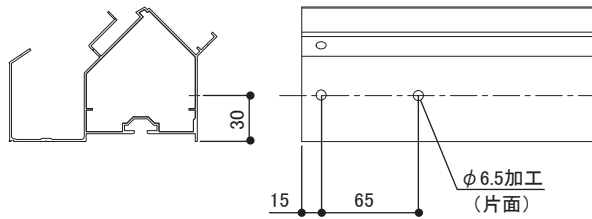
□連棟ユニットの施工

※連棟ユニット以外の施工は基本セットの施工を参照してください。

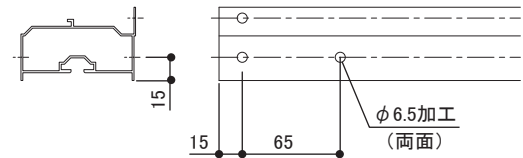
1 連結部の加工

1. 前枠と補強桁（補強桁あり仕様の場合のみ）の連結部に穴をあけてください。

●前枠

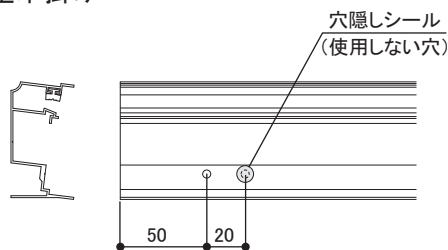


●補強桁（補強桁あり仕様の場合）



2. 垂木掛けの使用しない穴に穴隠しシールを貼りつけてください。

●垂木掛け

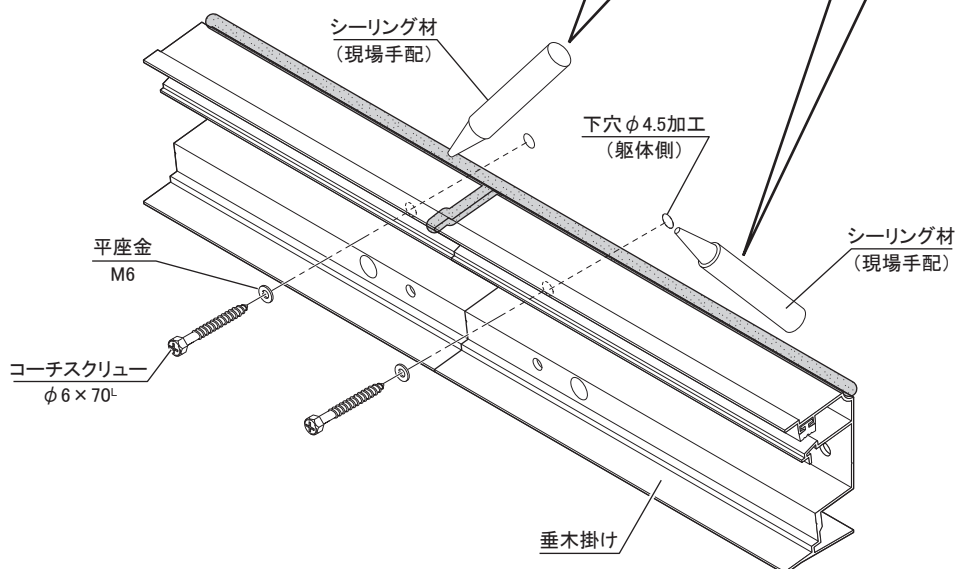


2 垂木掛けの連結

1. 垂木掛けの連結部にシーリングを施してください。

お願い

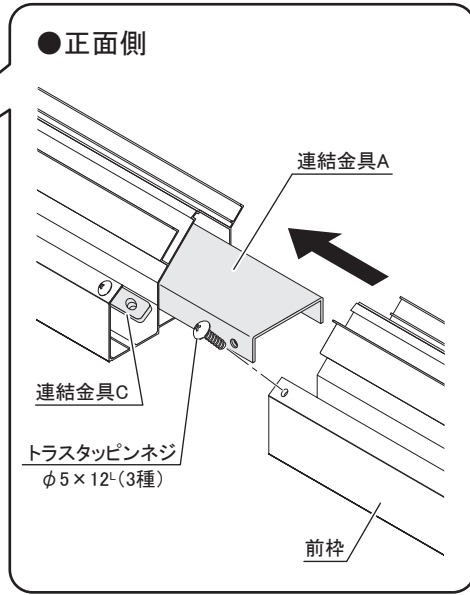
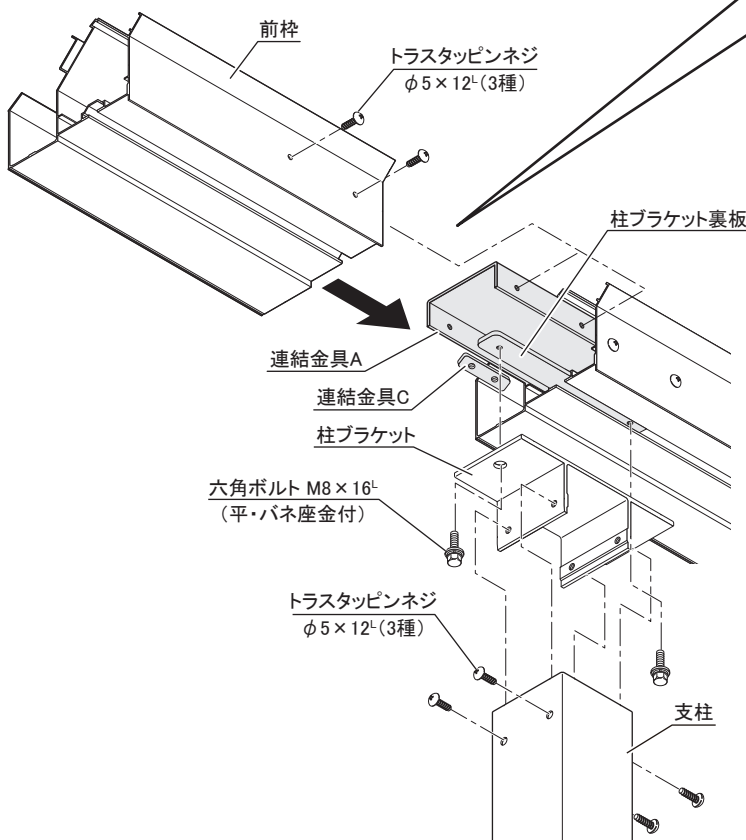
- ・ 躯体にプライマー処理を行った後、シーリングを施してください。
- ・ シーリング材は変性シリコン系（現場手配）を使用してください。



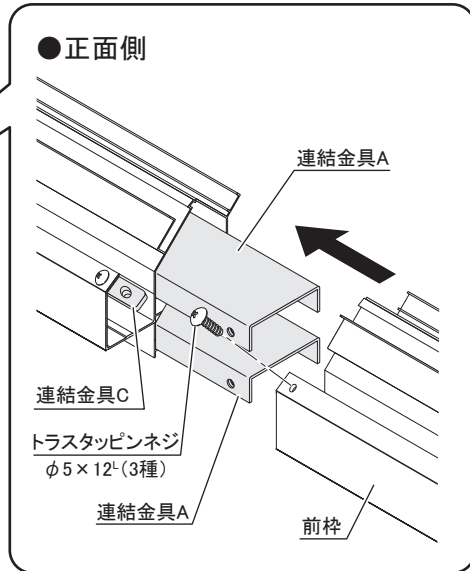
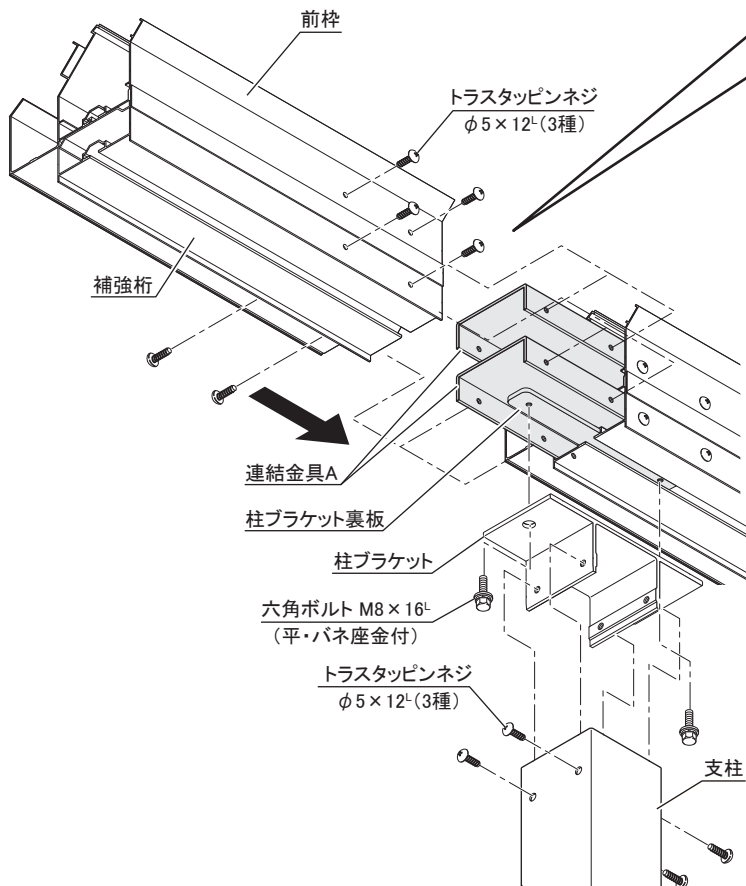
3 前枠の連結

1. 前枠を連結金具で連結してください。

補強桁なし仕様



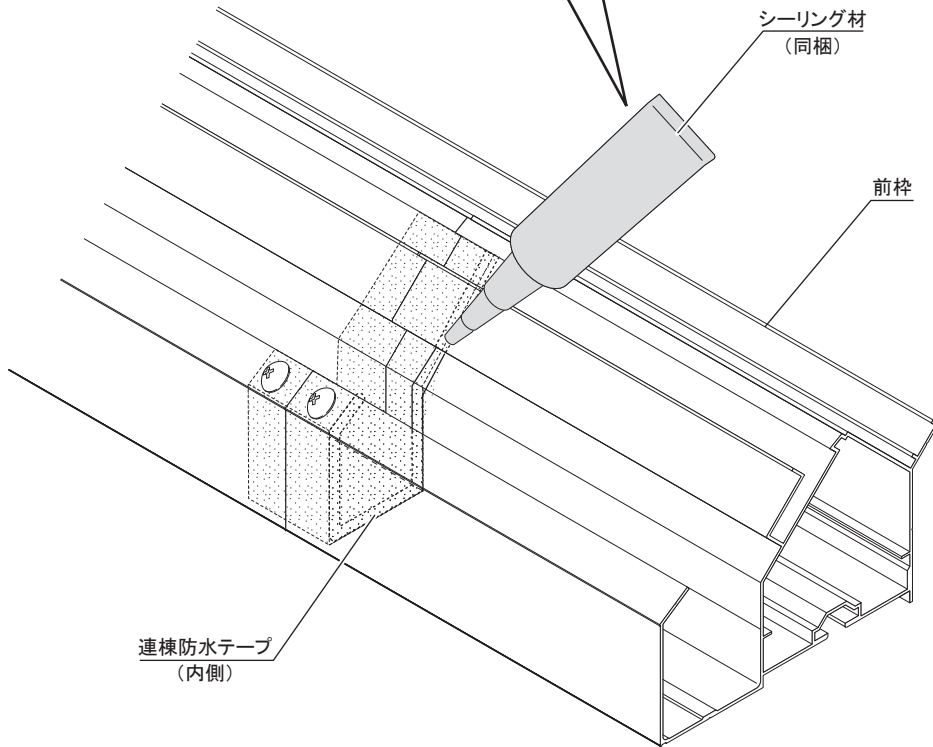
補強桁あり仕様



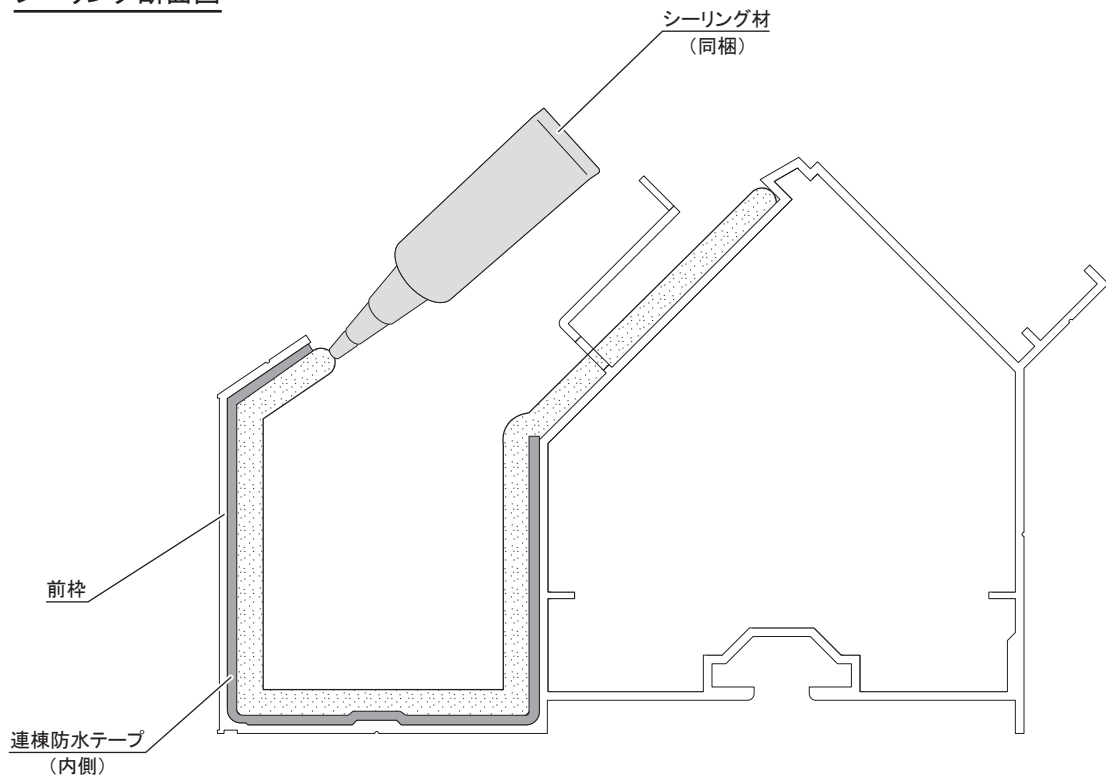
2. 前枠突き合わせ部の内側にシーリングぎれ防止の連棟防水テープを貼り、上からシーリングを施してください。

お願い

シーリング材はシリコン系 脱アルコール形(同梱)を使用してください。



シーリング断面図



お客様へ・・・

モダンルーフ75をお買いあげいただきありがとうございました。

いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1. 施工者より渡されました取付・取扱説明書は大切に保管してください。
2. いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため、時々布で表面の汚れを拭きとってください。
3. お手入れは、うすめた中性洗剤を使用し、拭きとったのち洗剤が残らないようにしてください。
シンナー等の石油系溶剤は絶対に使用しないでください。
4. 積雪が20cmになる前に、必ず雪おろしをしてください。
5. 商品をむやみに揺すったり、乗ったり、寄りかかったり、商品の上に重い物を載せたりしないでください。
故障や破損の原因になります。
6. 商品のそばでゴミ等を焼いたりしないでください。変形の原因になります。
7. 前枠の樋部を掃除する際は、とびだしているネジで手を切らないよう、ご注意ください。

●改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。

製造元



四国化成工業株式会社

'17.8改訂

No.170801-001